

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,154
		2号炉	4,209
		3号炉	2,038

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	904	800 以上
		2号炉	4月30日	941	
		3号炉	4月15日	949	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	170	
		3号炉	4月15日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	13	100 以下
		2号炉	4月30日	11	
		3号炉	4月15日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉 2号炉 3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	180 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m ³	
					µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	4月22日	5月14日	0.65 m ³ N/h	83.9 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					21 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					<0.00071 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					6.6 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					4 ppm	50 µg/m ³
						68 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					ppm	50 µg/m ³
						µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,455
		2号炉	4,563
		3号炉	1,850

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	900	800 以上
		2号炉	5月31日	954	
		3号炉	5月31日	965	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
		3号炉	5月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	12	100 以下
		2号炉	5月31日	9	
		3号炉	5月31日	4	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	5月27日	6月22日	0.046 m ³ N/h	87.8 m ³ N/h
	1.3 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00070 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					16 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					9.9 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					1.6 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	5月27日	6月22日	0.15 m ³ N/h	86.4 m ³ N/h
	4.5 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00078 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					25 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	15 ppm					71 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					38 µg/m ³	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,158
		2号炉	4,443
		3号炉	4,443

データ 項目	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	927	800 以上
		2号炉	6月30日	939	
		3号炉	6月30日	949	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	7	100 以下
		2号炉	6月30日	9	
		3号炉	6月30日	7	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h		
ばいじん	1回/2月				ppm			
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm	
	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	6月17日	7月15日	0.31 m ³ N/h	83.9 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				10 ppm	<0.00067 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				21 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				12 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月				77 ppm	50 µg/m ³		
	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h		
ばいじん	1回/2月				ppm		0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		180 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm		50 µg/m ³	
	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,604
		2号炉	552
		3号炉	4,604

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	939	800 以上
		2号炉	7月3日	947	
		3号炉	7月31日	944	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	7月3日	170	
		3号炉	7月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	10	100 以下
		2号炉	7月3日	5	
		3号炉	7月31日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	7月6日	7月27日	0.17 m ³ N/h	86.0 m ³ N/h
	5.1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00088 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					23 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	14 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					80 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			1.2 µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	7月6日	7月27日	0.20 m ³ N/h	84.1 m ³ N/h
	6.5 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00073 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					15 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	9.2 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					76 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			1 µg/m ³	50 µg/m ³		

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,414
		2号炉	3,961
		3号炉	4,479

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月10日	943	800 以上
		2号炉	8月31日	943	
		3号炉	8月31日	947	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月10日	170	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	170	
		3号炉	8月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月10日	8	100 以下
		2号炉	8月31日	8	
		3号炉	8月31日	7	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング [®] 口)	1号炉	8月26日	10月11日	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉			0.0000054 ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング [®] 口)	1号炉	8月5日	8月31日	0.19 m ³ N/h	84.8 m ³ N/h
	5.9 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00072 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					20 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	12.0 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					79 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング [®] 口)	2号炉	8月5日	8月31日	0.21 m ³ N/h	83.2 m ³ N/h
	7.0 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00070 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					24 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	14.0 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					69 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング [®] 口)	3号炉			m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,454
		3号炉	4,458

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	9月30日	946	
		3号炉	9月30日	954	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	170	
		3号炉	9月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	9月30日	9	
		3号炉	9月30日	7	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	9月9日	10月11日	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			0 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉			ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん	1回/2月				0.30 m ³ N/h	83.9 m ³ N/h	
塩化水素	1回/2月				9.9 ppm	0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				<0.00071 g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				28 mg/m ³ N	180 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	77 ppm	180 ppm	
ばいじん	1回/2月				0.17 m ³ N/h	84.6 m ³ N/h	
塩化水素	1回/2月				5.5 ppm	0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				<0.00074 g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				21 mg/m ³ N	180 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	13.0 ppm	180 ppm	
ばいじん	1回/2月				76 ppm	180 ppm	
塩化水素	1回/2月				µg/m ³	50 µg/m ³	
窒素酸化物	1回/2月				µg/m ³	50 µg/m ³	
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,523
		2号炉	4,476
		3号炉	3,038

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	945	800 以上
		2号炉	10月31日	957	
		3号炉	10月21日	956	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	170	
		3号炉	10月21日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	5	100 以下
		2号炉	10月31日	9	
		3号炉	10月21日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉 2号炉 3号炉	10月21日	12月2日	0.00033 ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	10月14日	11月2日	0.44 m ³ N/h 15 ppm	83.1 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					<0.00078 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					30 mg/m ³ N 18 ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					71 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					6.6 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月					煙突 (サブリング*口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N ppm	200 mg/m ³ N				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	10月14日	11月2日		
ばいじん	1回/2月					<0.00074 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					19 mg/m ³ N 12 ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					78 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					11 µg/m ³	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,450
		2号炉	4,445
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	952	800 以上
		2号炉	11月30日	955	
		3号炉	11月1日	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	170	
		3号炉	11月1日	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	6	100 以下
		2号炉	11月30日	10	
		3号炉	11月1日	—	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	180 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m ³	
					µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	11月11日	12月3日	0.2 m ³ N/h	88.5 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					5.4 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					0.00081 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					20 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					12 ppm	50 µg/m ³
						84 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					ppm	50 µg/m ³
						µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和3年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,029
		2号炉	4,291
		3号炉	3,036

項目	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	935	800 以上
		2号炉	12月31日	948	
		3号炉	12月31日	933	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	170	
		3号炉	12月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	6	100 以下
		2号炉	12月31日	10	
		3号炉	12月31日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
					µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
					µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	12月23日	0.64 m ³ N/h	85.2 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				19 ppm		
塩化水素	1回/2月				<0.00070 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				29 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				18 ppm		180 ppm
					77 ppm		180 ppm
		µg/m ³	50 µg/m ³				

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,915
		2号炉	1,971
		3号炉	2,051

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	939	800 以上
		2号炉	1月31日	941	
		3号炉	1月31日	970	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	1月31日	170	
		3号炉	1月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	7	100 以下
		2号炉	1月31日	11	
		3号炉	1月31日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	1月13日	0.17 m ³ N/h	85.5 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				4.8 ppm		
塩化水素	1回/2月				0.00078 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				16 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				10 ppm		180 ppm
	1回/4月				81 ppm		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,130
		2号炉	—
		3号炉	4,108

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	947	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	964	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	7	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング [®] 口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング [®] 口)	1号炉	2月21日	3月17日	0.24 m ³ N/h	86.6 m ³ N/h
	7.3 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00073 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					40 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	24 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					66 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング [®] 口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング [®] 口)	3号炉	2月21日	3月17日	0.22 m ³ N/h	86.4 m ³ N/h
	6.5 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00060 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					21 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	13 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					66 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,157
		2号炉	2,940
		3号炉	4,145

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	952	800 以上
		2号炉	3月31日	934	
		3号炉	3月31日	978	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	170	
		3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	7	100 以下
		2号炉	3月31日	9	
		3号炉	3月31日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	3月7日	3月31日	0.15 m ³ N/h	88.0 m ³ N/h	
	4.3 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00076 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					35 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	21 ppm							
窒素酸化物	1回/2月					76 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm							
窒素酸化物	1回/2月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm							
窒素酸化物	1回/2月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³		

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。